

訓練概要

訓練形式

職員参集訓練

実施日時

令和 6 年（2024 年）11 月 8 日（金） 6 時 00 分～9 時 00 分

訓練内容

大規模災害発生による第 3 号配備体制を想定し、全職員を対象とした職員参集メールの配信およびシステムでの回答による参集訓練を実施。

訓練形式

図上シミュレーション訓練

目的

災害発生初動期（発災直後～数時間まで）における災害対策本部員（担当者も含む。）と防災関係機関が連携して行うべき状況判断や役割・行動を模擬的に体験することで、参加者の災害対応能力並びに各部局と関係機関との情報共有や連絡調整能力の強化を図り、本市の災害対応力の向上につなげることを目指す。

実施日時

令和6年（2024年）11月8日（金） 9時30分～12時

実施場所

宝塚市役所第二庁舎2階 災害対策本部室1・2

災害想定

今年8月末に発生した台風10号が近畿地方を直撃。平成30年豪雨を大幅に超える大雨により、宝塚市内を流れる武庫川左岸堤防が決壊、右岸で溢水が発生。降り続いた大雨の影響で、宝塚市内の全域で被害が発生しており、武庫川左岸堤防の決壊、右岸の溢水による大規模な洪水のほか、土砂災害、建物の浸水、道路の冠水や水道等のライフライン施設も被災し、負傷者、避難者、救助を求める人が続出している。

訓練検証

浦川 豪 氏（兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授）

訓練内容	訓練の様子
図上シミュレーション訓練 各部局に与えられた災害の状況に対し、災害情報システムを用いて部局に応じた情報共有、連携を図りながら対応していく。	  
災害対策本部会議 被害の拡大防止や市民の安全確保に向けて、各部からの被害情報の共有や全体方針の決定を行う会議。	

訓練形式

防災研修

実施日時

令和 6 年（2024 年）11 月 8 日（金） 13 時 15 分～15 時 30 分

実施場所

宝塚市役所第二庁舎 2 階 災害対策本部室 1・2

研修内容

阪神大震災から 30 年が経過し、災害対応経験がない職員が増えている中で、応援従事等で災害対応を経験した職員の体験談を聞くことで、自治体職員としての責務である災害対応についての意識向上を図る。また非常時対応を見据えて、平時から体制をどう整備し、発災時にはどのように速やかに体制増強をしていくか、また被害を最小化していくか等について外部講師に講演をいただくことで平時からの備えの重要性、発災時にどのように動くことが必要なのかについての意識向上を図る。

災害応援従事・災害対応体験 講話者

- ・令和 6 年能登半島地震 災害応援従事者 2 名
- ・阪神・淡路大震災 災害対応経験者 1 名

防災研修 講師

浦川 豪 氏（兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授）

訓練概要

訓練形式

シェイクアウト訓練

実施日時

令和7年（2025年）1月17日（金） 10時00分

訓練内容

本市総合防災訓練の一環として、市内で大規模な地震が発生した想定で、市内一斉にシェイクアウト訓練（地震発生時の安全行動訓練）を実施しました。

実施にあたり、Yahoo 防災速報、宝塚市安心メール、コスモキャストを使用しました。

